

磐梯朝日国立公園の未来を語るシンポジウム

「保護と活用の好循環へ」

～守って、活かして、盛り上げる。地域とともに～

National
Parks
of Japan

磐梯朝日国立公園は、出羽三山、朝日連峰、飯豊連峰、吾妻連峰、安達太良山、磐梯山など、全国的にも著名な山々を擁し、その周辺にはそれぞれ固有の自然環境と人々の関わりが息づいています。一方で、これらの豊かな自然を守り続けるための保護管理体制や持続可能性の確保が課題となっています。

本シンポジウムは、磐梯朝日国立公園における保護と活用の好事例を相互に共有し、地域内外の連携強化や地域資源の好循環の創出等について理解を深め、未来に向けた持続可能な地域づくりを考える機会といたします。

■ **日時** 2026年3月11日(水) 13:30～16:30 (開場13:00)

■ **場所** 東京第一ホテル鶴岡 1階「鳳凰の間」山形県鶴岡市錦町2-10
*無料駐車場あり (ホテル北側、線路沿いの駐車場をご利用ください)

■ 次第 (予定)

1. **開会** 羽黒自然保護官事務所 自然保護官 渡邊 元嗣

国立公園って何？身近な存在でありながら、実は十分に知られていない国立公園。ディスカッションへの導入として、その本質と役割を少しだけご紹介します。

2. パネルディスカッション

ファシリテーター：歩く東北研究所 代表 後藤 光正 氏

パネリスト： NPO法人 飯豊朝日を愛する会 副理事長 井上 邦彦 氏
安達太良・吾妻 自然センター 代表 一瀬 圭介 氏
一般社団法人 DEGAM鶴岡ツーリズムビューロー 前田 政文 氏

「保護」と「活用」の好循環をどう作るか？地域内で繋がって、ファンを増やすには？ワクワクする事例をヒントに私たちの地域のこれからを語り合います。

■ 参加対象者：磐梯朝日国立公園にご興味のある皆様、公園内外で事業に携わる皆様

■ お申込み・お問い合わせ先：

(株) 庄交コーポレーション 庄交トラベル事業部 後藤、高森

☎電話:0235-24-2550 FAX:0235-23-5792 email: wecare@shoko-corpo.jp

■ 参加費：無料 ■ 定員：50名 ■ お申込み締切：3月9日(月)

■ 主催：東北地方環境事務所／羽黒自然保護官事務所 (受託：(株)庄交コーポレーション)

磐梯朝日国立公園の未来を語るシンポジウム 参加申込書 (FAX送信用)

お名前

Fax送信先

0235-23-5792

庄交トラベル 後藤、高森 宛

ご所属

emailでお申し込みの際は、件名を「磐梯朝日国立公園シンポジウム」とし、お名前、ご所属、ご連絡先電話番号を本文に記載して送信してください。

ご連絡先電話番号

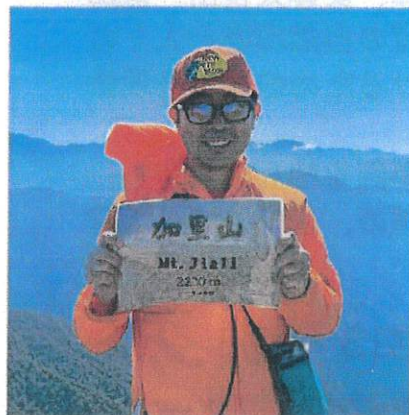
磐梯朝日国立公園の未来を語るシンポジウム

「保護と活用の好循環へ」

～守って、活かして、盛り上げる。地域とともに～

National
Parks
of Japan

ファシリテーター



後藤 光正 (ごとう みつまさ) 氏

歩く東北研究所 代表

アトラク東北株式会社代表、歩く東北研究所代表社員、インアウト・バウンド東北取締役として、観光コンセプト設計から商品造成、受入体制づくりまで一貫して担う“観光プロデューサー”。

東北の自然・文化・歴史を軸に広域で旅を編集し、地域とともに新しい価値を創出している。ロングトレイル造成やLNT普及、自然センター運営など、観光の活用と保全を両立する仕組みづくりにも注力。みちのく潮風トレイル踏破経験を活かし、Trail & Train や荷物配送ツアーなど新たな歩く旅も提案している。

パネリスト



井上 邦彦 (いのうえ くにひこ) 氏

NPO法人 飯豊朝日を愛する会 副理事長

地域の登山愛好会である小国山岳会員をベースにして特定非営利活動法人を設立。飯豊連峰を中心に稜線の避難小屋や登山道の維持管理、山岳遭難対策などを行っている。

「登山活動により生じた登山道の浸食や裸地化を、登山者自らが植生復元する活動」を提唱し、2006年から環境省と連携してボランティアによる登山道保全作業を実践している。

「やまがた百名山」選定委員、「山と高原地図・飯豊山」著者。

一瀬 圭介 (いちのせ けいすけ) 氏

安達太良・吾妻 自然センター 代表

福島県二本松市岳温泉を拠点に「磐梯・吾妻・安達太良ボルケーノトレイル®」の設計を行うなど、地域振興、文化継承、環境保全をベースにしたアドベンチャートラベルやツアーイベント等のプロデュースを行っている。

その中心施設として2023年に「安達太良・吾妻 自然センター」を開設し、同エリアの情報発信やガイドツアーや宿泊施設の提供のほか、トレイルの整備や携帯トイレブースの設置など、環境保全に関する取り組みも主導。

前田 政文 (まえた まさふみ) 氏

一般社団法人 DEGAM 鶴岡ツーリズムビューロー

地元旅行会社での実務経験を経てDEGAM鶴岡ツーリズムビューローへ入社。これまでに、令和5年度「観光庁 地域一体型ガストロノミーツーリズムの推進事業」、令和7年度「環境省 国立公園における感動体験アドベンチャートラベル創出事業」などを担当し、地域内のコンセンサス形成、プロモーション活動まで一貫して取り組む。総合旅行業務取扱管理者。

